



七国小だより

七国小学校の教育目標

自分を伸ばします

●進んで学びます

●心をみがきます

●体をきたえます

「挑戦する人に『ありがとう』」

校長 市川 利幸

「長雨の候」…7月上旬の代表的な時候の挨拶ですが、今年はこの言葉が合っている気がします。雨が多く、気温が上がる日は少なく、台風が東京に2度も接近するなど天候が安定せず、体育での水泳の授業がなかなか実施できないでいます。ここ数年は「暑すぎて水泳授業ができない」ことに頭を悩ませてきましたが、自然に関することはなかなか上手いかないものです。

さて、FIFA ワールドカップ2026が開催中です。世界中のサッカーファンが、一喜一憂しているのをテレビや新聞で子供たちもたくさん見ているようです。毎朝、校門で挨拶に立つ私にサッカーの話題を話しかけてくる子と青いユニフォーム姿で登校する子が急に増えました。早朝、深夜の試合でも頑張っている姿と話してくれる子もたくさんいます。応援・憧れ・希望・夢・尊敬・敬意・礼節…多くの大人と子供がいろいろな思いを胸に声援を送っていたことと思います。



ただ、この原稿を書いている日の未明…日本代表は惜しくも敗退となりました。目標としていた「頂点」には届きませんでした。多くの人々が「ありがとう」と拍手を送っていました。それは、勝敗だけが人の心を動かすのではないことを改めて教えてくれたと思います。思い通りにならない場面でも、仲間と自分を信じ、最後の笛まで全力で挑み続ける…ひたむきな姿勢であるからこそ、多くの人からの「ありがとう」につながっていることを、子供たちには自分の目と心で感じ取り、自分の成長を促す糧の一つにしてもらいたいと思います。

話題は変わりますが、去る6月16日に「道徳授業地区公開」を実施いたしました。本年度より中休みを挟み、昨年度までより1時間多い前・後半制で2時間ずつの参観時間を設定いたしました。保護者の皆様には、参観時間の調整へのご協力ありがとうございました。ただ、授業以外の時間、例えば子供たちが大好きな「中休み」や「昼休み」の過ごし方は、なかなかご覧いただけなかったかと思います。毎日、休み時間になると多くの子供たちは「待ってました！」とばかりに、校庭へ遊びに飛び出します。子供らしさとパワーが溢れる中で、楽しく休み時間を満喫している様子が見られます。ですが、友達との関わりが増え、盛り上がるということは、その遊びのルールや勝敗、チーム分けなどを巡って言い合いや争いが起き、トラブルやいじめの芽になることが多々あります。これは、子供の世界だけではなく、大人の世界でもあることです。しかし、子供は大人ほどその解決や対処方法を知りません。また、七国小のような人数の多い学年では、クラス替えで初めて遊び始める友達もいて、お互いに最初は遠慮と様子を見つつも、3か月経った7月頃はすっかり慣れてきて本音が出たり、雑な対応で言い合ったりするなど、心に傷を負いやすい時期でもあります。

今、私たち教員は、このような子供たち同士のトラブルを一つ一つ丁寧に指導しています。双方の主張を聞き、時系列に沿って事実を確認し、状況を整理して即日解決に努めています。お互いに100%の納得はいかないこともありますが、今後も続く友達関係をより良いものにしていくための指導と一人一人の成長を大切にしています。ご家庭では、お子様自身の今後の成長を見据えた視点でご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

子供たちが自分を信じ・友達を大切にできてこそ、「日本一優しい学校」への挑戦は続きます。

1学期の教育活動へのお力添えありがとうございました。どうぞ良い夏をお過ごしください。

ICTの効果的な活用

情報教育主任

本校では、ICTの効果的な活用を通して、子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現を目指しています。一人一台端末とし、chromebookを学習や学級での係活動など、様々な場面で使用しています。低学年から経験を積み重ねることで、自分の考えや意見を発信するツールとして、活用を広げています。

○オクリンクプラスを活用した情報共有

オクリンクプラスでは一人ひとりがカードを作成・提出することで、子どもたちの意見をクラス全体で共有することができます。文章だけではなく、写真や絵を送ることができ、子どもの実態に合わせた様々な方法で使用しています。学級全体で考えを整理したり、見合ったりすることを通して、更に気づきが深まり、協働的な学びを促しています。また、提出している友だちのカードをすぐに見ることもでき、安心して自分の思いや考えを表現する姿が多く見られています。



○情報リテラシー

現在、子ども同士でのSNSの利用がトラブルの原因になっています。お互いの顔が見えない状況でのコミュニケーションは、捉え方の違いを生みやすくします。正しい知識と正しい利用の仕方について、「GIGAワークブック東京」を活用し、子どもたちと情報リテラシーについて考える時間をつくっています。ご家庭との情報交換を大切にしながら情報リテラシーに関する教育を充実させていきます。

食育の取り組みについて

給食主任

七国小学校では、食育の授業を積極的に実施しています。低学年ではグリーンピースやそら豆のさやむき、中学年では朝ごはんの大切さや残菜のごみの行方について、高学年では簡単な調理実習を実施しています。1年生に剥いてもらったそら豆はその日の給食に出し、全校にも知らせました。学習を通して子どもたちの『食』への興味、関心を高めていきたいと考えています。



5、6年生では家庭科の学習で、お茶の入れ方、茹で野菜、いろどりいためを作る実習をしました。今後、ご飯の炊き方やお味噌汁の作り方を学習します。ぜひ、ご家庭でも子どもたちと一緒に食事を作るなど、『食』について考える機会を作っていただけたら幸いです。

毎日の給食時の時間には、給食委員がその日の給食の栄養素や食材についてのお話などを放送で知らせています。栄養黒板にはその日の献立や食材を掲示しています。月初めには給食目標のポスターを持って各学級をまわり、呼びかけをしています。大人からの発信も大切ですが、子ども同士の言葉はより響くようで、みんな真剣に聞いてくれています。発表集会でも給食や食物に対する関心を高める内容を発表できるよう、計画中です。



6月には「めざせおはし名人」に全校で取り組みました。今年もご家庭に協力していただきありがとうございました。子どもたちにとってもおはしの持ち方について見直す、良いきっかけとなりました。学校では、その日の献立に応じ、「あつめる」「きりさく」「はさむ」「ほねをとる」「つまむ」の5つのはし使いを学びました。給食中、はしに気を配りながら丁寧に使う様子が見られました。ご家庭でも食卓を囲みながら、親子でおはしの使い方や食事のマナーを話し合う機会になったようで嬉しく思います。子どもたちが食物や食生活に関心を持ちながら、しっかりと食べ、日々、元気に成長していけるよう、学校と家庭、双方で気を配りながら、今後とも『食育』を行っていきましょう。毎月の『食育だより』でまた、発信していきます。